

灯



する以外にはない。

過疎や少子化に悩む私学は、地域に認められ、必要とされなければ経営が成り立たないので「『公』」おおよげに認められる教育内容でなければ」と常に考えている。従って私学こそ「公」を意識したいいわゆる「公教育」を実践しているといえるのではないか。

わが昭和学園は今年創立75周年を迎えた。私が理事長職に就いて25年になるが、果たしてこの間、経営者として十分なことができたかどうか。ただ25年間破綻せずにこられたことは、多少の努力をした成果

とは思っている。

私学経営上の要点は幾つもあるが、教育委員会の指導下には入らないので、私学ならではの自由な私学



草野 義輔

地方振興が叫ばれる今日、地方に私学が存続することは活力の重要な目安だと思ふ。私学は補助金があるから、と揶揄

発想と仕組みが可能である。この自由度の高さを生かして育てることが私学人の気概でもある。私学が主流だった中高一貫教育は近年公立が取り入れており、アイデアを横取りされた感には否めない。公立が追随してきたら私学はまた知恵を絞って、より魅力的な学校づくりに努力

されることもあるが、私利を追求せず公益を追求する経営姿勢こそ私学の神髄。そして「『公教育』実践の場としての私学の火を絶やさないことが地方創生になる」と、75周年という節目を迎え気持ちを新たにしている。
(昭和学園高校理事長・日田市)